

# 家庭の中の人権

# 生まれ来る子へ



廣瀬裕一郎

筒井 奏

上原 由恵

木村 翠

草薙 良一

上映時間25分

解説書付き

DVD 69,300円(本体66,000円)

字幕版付き

[C#2816]

※消費税の変動により販売価格は変更の可能性があります。



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17

<http://www.toei.co.jp/edu/>

## 企画意図

### 『人権』とは？

「誰もが生まれながらに持っている“幸せになる権利”です」(法務局より引用)

人は皆、幸せになるために生きてきます。その一方で、誰かを傷つけ、排除し、幸せになる権利を侵害しています。このドラマでは、「家庭の中の人権」に目を向け、祖父母と孫夫婦の会話を通して、私たちの身の回りにある人権問題をクローズアップしました。

家庭の中で、人権の尊さについて語りあい、伝えていくことは、すべての『いのち』を大切にすることでもあります。気づくこと、そして、行動することの大切さを描きます。

## 内 容

### 『おなかに赤ちゃんがいます』

三田村敬は妻の菜緒と祖父母の家を訪ねた。今日は祖母の誕生日だ。菜緒のバックには「おなかに赤ちゃんがいます」マークがついている。菜緒は通勤時、このマークに気づいても寝たふりする人がいるとぼやく。敬は「自分がその立場にならないとわからないことってあるよな」と、気づくのだった。



### 『イクメンは変ですか』

敬の祖父・幸造と祖母・晴子は新しい『いのち』を授かったことを喜び祝福してくれた。車椅子生活になった晴子に代わり、主夫として家事をする幸造の変化に驚く敬。晴子は菜緒が出産後も仕事を続けることを知り、敬に「育児休暇は取るの?」と聞いてみる。

### 『よかれと思って』

敬の叔母・柿内美知子がやって来た。近くに住んでいるので幸造と晴子の世話をしている。美知子は菜緒の妊娠を祝いながらも、子どもができない隣の夫婦のことを揶揄する。また、結婚適齢期の子どもを持つ美知子は、子を心配する親の気持ちとして「身元調査の必要性」を語るが、敬は不快感を表すのだった。

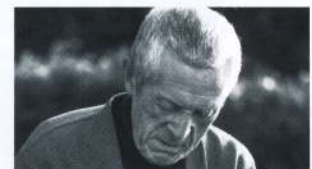


### 『親の介護をするのは誰』

外国赴任中の敬の父・大輔から晴子宛てに手紙がきた。美知子は大輔が長男なのに親の面倒を見ていないと兄夫婦のことを批判。幸造は「男は仕事上の責任がある」とかばうが、美知子は、「私は娘だから、ただの主婦だから、親の介護をするのは当たり前なの?」と反発する。

### 『愛情とは支配すること?』

安産祈願の帰り道、祖父母は孫夫婦とひ孫のために自分達の人生を振り返り、語りはじめた。敬が初めて聞く幸造のDV。しかし、幸造は2年前の晴子の入院を機に美知子から指摘され、自分が裸の王様だったこと、本当は家族に支えられていたことに気づいたと、懺悔するように語るのだった。



### 『生まれ来る子へ』

敬と菜緒は、祖父母の話に学び誓うのだった。生まれ来るすべての子どもたちが「生まれてきて良かった」と思えるように、おごることなく、妬むことなく、柔らかな心と曇りのない目を持つと。

DVD  
メニュー

チャプター・字幕版付き

1 プロローグ —おなかに赤ちゃんがいます (01:30)

2 イクメンは変ですか (04:00)

3 よかれと思って (03:00)

4 親の介護をするのは誰 (03:00)

5 愛情とは、支配すること? (09:00)

6 エピローグ —生まれ来る子へ (04:30)

プロデューサー 鎌田幸人 / 佐野孝典  
脚本 山上梨香  
監督 越坂康史

制作協力 株式会社 シンサイズ

企画・制作 東映株式会社 教育映像部

2013年作品